文書番号：APE-0810

２０１６年度環境活動レポート
平成２８年８月～平成２９年７月

平成２９年９月　８日

株式会社アプリクス

文書番号：APE-0110

組織の概要

１．事業所名
株式会社アプリクス

２．代表者氏名
根本　恒一郎

３．所在地
本社：〒193-0813
東京都八王子市四谷町 663

４．環境管理責任者
井上　貴美子
連絡先　：　TEL：042-620-7900
Mail：info@applics.co.jp

５．事業の規模
資本金　：　3,800 万円
年商額　：　8,733 万円（2016 年 7 月期）
主要（生産）取扱量　：　約 500 台
従業員数　：　6 名
延床面積　：　290 ㎡
敷地面積　：　311 ㎡

６．事業活動の内容
オゾンガス、オゾン水、水素水、機能水用 PH/ORP 等の
分析機器、計測機器の製造販売
その他関連機器の開発・設計及び製造販売
これら分析・計測機器のレンタルおよび受託事業

７．その他
設立年月日：1984 年 4 月 9 日
事業年度　：　8 月　～　7 月

文書番号：APE-0210

株式会社アプリクス
環境方針

株式会社アプリクスは、深刻化する地球温暖化や資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、オゾン関連製品の開発・製造・販売等の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

１．　具体的に次のことに取組みます。

①　電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出の削減

②　使用原材料の省資源、廃棄物の３Ｒ
（減量、再使用、再生利用）の推進

③　水資源の節水

④　有害化学物質の法に基づいた適正管理

⑤　事務用品・購入部材のグリーン購入

⑥　環境に配慮した製品の開発・製造・販売

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。

２．　環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

３．　環境への取組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2011 年 11 月 30 日
代表取締役社長
根本　恒一郎

文書番号：APE-0510

作成：2016年9月9日

株式会社アプリクス環境目標

大項目	項目名	基準年度	2016年度	2017年度	2018年度
(1) 二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量削減	2010年度 19,413 (kg-CO_2)	実績把握	2016 年の実績を元に目標値を設定	2016年の実績を元に目標値を設定
	①電力使用量の削減	2010年度 32,772 (kwh)	実績把握	2016 年の実績を元に目標値を設定	2016年の実績を元に目標値を設定
	②ガソリン使用量の削減	2011年度 1975 (L)	2011年度対比、燃費4%向上	2011年度対比、燃費4%向上	2011年度対比、燃費4%向上
(2) 廃棄物排出量の 削減	①産業廃棄物(廃プラスチック)の削減	2012年度 0.6 ㎥	2012 年度と同等	2012 年度と同等	2012 年度と同等
	②事業系一般廃棄物の削減	2011年度 1040 (L)	2011 年度実績に対し、2%削減：1,019 (L)	2011 年度実績に対し、2%削減：1,019 (L)	2011年度実績に対し、2%削減：1,019 (L)
(3) 化学物質の削減	有機溶剤の安全管理	-	安全対策と同等の管理を行う。	安全対策と同等の管理を行う。	安全対策と同等の管理を行う。
(4) 水消費量の削減	節水の意識付け	2015年度 607 (㎥)	実績把握	2016 年の実績を元に目標値を設定	2016年の実績を元に目標値を設定
(5) グリーン購入	文房具のグリーン購入	2011年度 グリーン購入率 62%	グリーン購入率 95%以上	グリーン購入率 95%以上	グリーン購入率95%以上
(6) 環境配慮型製品の製造	製品製造に伴う試験方法の見直し	-	改良製品開発時の選定にエコ部品を60%以上採用する	改良製品開発時の選定にエコ部品を60%以上採用する	設備装置配管見直しにて、水の使用量を3%削減する方法

＜注１＞：電気使用量に対する二酸化炭素排出量の算出に用いたCO２排出係数は、東京電力㈱の0.425（Kg－CO2）/kwhを用いて計算した。

＜注２＞：化学物質の削減については、年間使用量が１L未満で極微量の為、削減ではなく、安全管理を取り組み目標と再設定した。

文書番号：APE-0520

環境活動計画

環境目標 大項目	環境目標	目標達成手段 （具体的方法）	実施責任者
（1） 二酸化炭素排出量 の削減	二酸化炭素 排出量削減		井上
	①電力使用量の削減	① 昼間不用時の消灯、電源 OFF ② PC のスリープモード設定 ③ 空調温度の適正化 （冷房：27℃、暖房：24℃）	
	②ガソリン使用量の削減	① 制限速度の厳守 ② アイドリングストップ ③ タイヤ空気圧の適正化 ④ 目標経路の適正化	井上
（2） 廃棄物排出量の 削減	①産業廃棄物（廃プラスチック）の削減	① 分別廃出の励行 ② 廃プラの再利用・再資源化の推進	井上
	②事業系一般廃棄物の削減	① ダンボール・紙類のリサイクル ② 発泡製品端材の再利用	井上
（3） 化学物質の削減	有機溶剤使用量の削減	化学物質・有害物質の法対応に基づいた適正管理	成瀬
（4） 水消費量の削減	節水の意識付け	① 節水の呼びかけ、意識付け ② 再利用の心がけ	成瀬
（5） グリーン購入	文房具のグリーン購入	① 文房具のエコマーク品購入 ② グリーン購入の作業手順書整備 ③ グリーン購入率の向上	井上
（6） 環境配慮型 製品の製造	改善提案	① １製品ごとの試験内容の見直し ② 使用する水、薬品の循環方法の検討	成瀬

文書番号:APE-0910

株式会社アプリクス　次年度の取組内容

環境目標	環境活動計画（具体的方法）
電力使用量の削減 （H24年度実績△3%）	①昼間不用時の消灯、電源OFF ②ＰＣのスリープモード設定 ③空調温度の適正化 （冷房：27℃　　暖房：24℃）
ガソリン使用量の削減 （H24年度実績と同等）	①制限速度の厳守 ②アイドリングストップ ③タイヤ空気圧の適正化 ④目標経路の適正化
廃プラスチックの削減 事業系一般廃棄物の削減	①分別廃出の励行 ②廃プラの再使用・再資源化の推進 ダンボール等紙類のリサイクル 紙発泡製品端材の再利用
有機溶剤使用量の削減	
	化学物質・有害物質の法対応に基づいた適正管理
節水の意識付け	①節水呼びかけ ②再利用をこころがける
事務用品のグリーン購入	①文房具のエコマーク品購入 ②グリーン購入の作業手順書整備 ③グリーン購入率の90%達成
改善提案	改良製品開発時の部品選定にエコ部品を６０％以上採用する

文書番号：APE-1210

2016年度の環境目標の実績及び評価

項目名	2016年8月~2017年7月		評価	次年度の目標
	目標	実績		
二酸化炭素排出量削減	実績把握	18.649 (kg-CO_2)	○	2013年度と同等 ,（Kg-Co_2）
①電力使用量の削減	実績把握	39,154 (kwh)	○	2013年度と同等 29,485 (kwh)
②ガソリン使用量の削減	513 (L)	737 (L)	×	2014年度と同等 513（L）
①産業廃棄物（廃プラスチック）の削減	0.6（㎥）	1（㎥）	×	2012年度と同等
②事業系一般廃棄物の削減	2880L	1050L	○	2014年度と同等
有機溶剤使用量の削減	ｱﾙｺｰﾙ 1L/年 ﾄﾙｴﾝ 0.025L/年	ｱﾙｺｰﾙ 2L/年	△	安全管理の維持
節水の意識付け	実績把握	208 (m3)	○	2015年度と同等
文房具のグリーン購入	グリーン購入率90%目標	グリーン購入95%達成率	○	達成率95%目標
製品製造に伴う試験方法の見直し	改善提案作成	目標を再検討し「製造に伴う試験方法の見直し」に設定。現状：分解器1台当たりの試験水量350L	製品に関わる為、試験方法は変更できず、配管等の見直しを行う	設備装置配管見直しにて、使用量3%削減する方法

＜注１＞:電気使用量に対する二酸化炭素排出量の算出に用いたCO２排出係数は、東京電力㈱の0.425（Kg－CO2）/kwhを用いて計算した。

文書番号:APE-0411

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

法規制等の一覧表を作成し、定期的に遵守状況をチェックすることにより違反等の無いことを自主的に確認しました。尚、これらの法規制に対する関係当局からの違反の指摘、及び関連する訴訟等は過去 3 年間ありません。

No..	法令・条例等の名称	該当する項目	遵守状況の確認・評価
1	自動車リサイクル法	○	○
2	家電リサイクル法	○	○
3	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法、PRTR 制度）	○	○
4	労働安全衛生法	○	○
5	グリーン購入法	○	○
6	消防法及び東京都火災予防条例	○	○
7	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	○
8	道路交通法	○	○